

小平市特別支援教育総合推進計画（第二期）後期計画策定に係る令和6年度に実施するアンケート調査の対象及び実施方法について

1 目的

令和8年度から令和12年度までの「小平市特別支援教育総合推進計画（第二期）後期計画」を策定にあたり、現状を把握するための必要な基礎資料の作成を目的とする。

2 アンケートの調査対象及び抽出方法

- (1) 市立小・中学校の特別支援学級に在籍する児童・生徒及び保護者（300世帯程度）
すべての在籍児童・生徒及びその保護者
- (2) 特別支援教室及び難聴・言語障がい通級指導学級に在籍する児童・生徒及び保護者（700世帯程度）
すべての在籍児童・生徒及びその保護者
- (3) 通常の学級に在籍する児童・生徒の保護者（335名程度）
以下の①から③の方法で計9校を抽出し、小学校においては第5学年の任意の1学級、中学校においては第2学年の任意の1学級を対象とする。（小学校：1学級約35名×5学級の約175名、中学校：1学級約40名×4学級の約160名 合計335名）
 - ①知的障がい特別支援学級設置校の小・中学校からそれぞれ2校を無作為抽出
 - ②特別支援学級未設置校の小・中学校からそれぞれ2校を無作為抽出
 - ③情緒障がい特別支援学級設置校である小平市立小平第四小学校
- (4) 通常の学級に在籍する児童・生徒（335名程度）
(3)と同様
- (5) 市立小・中学校に在籍する教員（100名程度）
全市立小・中学校に在籍する教員を対象に無作為で抽出する。
- (6) 小平市内在住で小平及び小金井特別支援学校に在籍する児童・生徒の保護者（200名程度）
小平及び小金井特別支援学校から対象の保護者に依頼文書を配付する。

3 実施方法にあたっての留意事項

- (1) 上記2の(1)及び(2)の児童・生徒については、保護者へのアンケート調査票内に児童・生徒へのアンケート項目を設け、保護者付添のもとで可能な限りで回答を得る。
- (2) 調査票を任意のWEBアンケートフォームで作成し、回答用URLを記載した依頼文書を各学級から保護者（世帯毎）に配付する。また、依頼文書に任意のID・パスワードを付番し、重複回答を防止する。
- (3) 調査票回収にあたり、各学校から1回程度のリマインドを行う。

4 今後のスケジュール

令和6年10月まで	施策連絡会、校長会議においてアンケートの内容確認
令和6年10～12月	アンケート実施・回収・分析
令和7年3月	アンケート結果報告